

ラップブロック工法(河川用空積)

NETIS掲載終了
KT-020077-V

NNTD
1173

ラップブロック工法とは、連結筋で連結した5個の擬似自然石(1セット)にパネル付アンカー部材を控え材として一体化し、裏込材(割栗石φ50～150mm)を充填しながら急勾配に積み上げるアンカー式ブロック工法です。

平均明度
5.5

※製造工場により
異なります

輝度の標準偏差
21

●特長

1.生態系に配慮

ブロック間の目地や段差部の空隙が、生物の生息・生育場所や植生基盤となります。また凸凹や空隙のある法面は生物が移動しやすい形状となります。

2.透水性・保水性

空積みで背面土砂と連続した構造により、透水性に優れ、空隙部に土砂が堆積・確保されることで保水性が向上します。

3.優れた安定性

アンカーに取り付けたパネルの支圧効果により裏込材と一体化した擁壁構造となります。内的・外的安定検討や実証試験を実施しており、道路兼用護岸・道路擁壁として自動車荷重等にも対応できます。

・設計流速8m/sまで適応が可能です。

・安定計算により直高8.0m まで対応できます。

4.経済性

・ユニット化(0.5ポ/セット)されたブロックを据え付けるだけで施工が簡単です。

・ブロックは連結筋で一体化されており、カーブ施工が容易です。

・胴込・裏込コンクリートが不要なため、工期短縮が可能で経済的な工法です。

■対応直高 ～8.0mまで

■対応流速 ～8.0m/s程度

■適用勾配 1 : 0.3～0.5

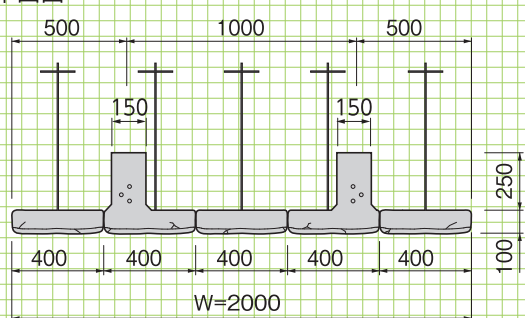
「災害復旧工事の設計要領(赤本)」参考資料に「アンカー式空石積工5連結擬似自然石」として歩掛が掲載されています。



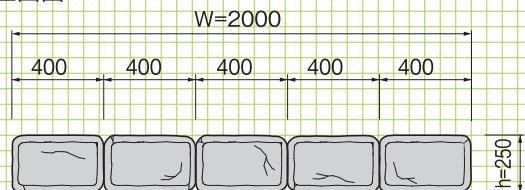
基本形状図

形状・寸法
重量

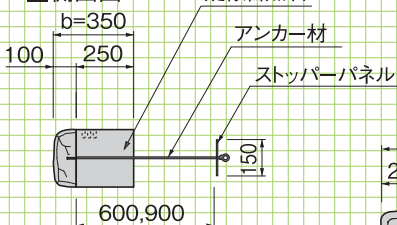
■平面図



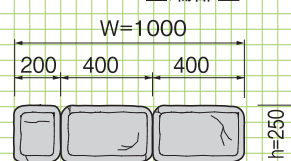
■正面図



■側面図



■端部型



■材質・仕様

名 称	材 質	仕 様
コンクリートブロック	普通ポルトランドセメントまたは高炉セメント	設計基準強度 $f'_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$
アンカー材	亜鉛アルミ合金メッキ鉄線(300g/㎡、アルミニウム10%含有)	線径=6mm(転造ネジ部M6.8mm)、L=600または900mm
ストッパーパネル	合成樹脂板	t=6mm、□150×150mm

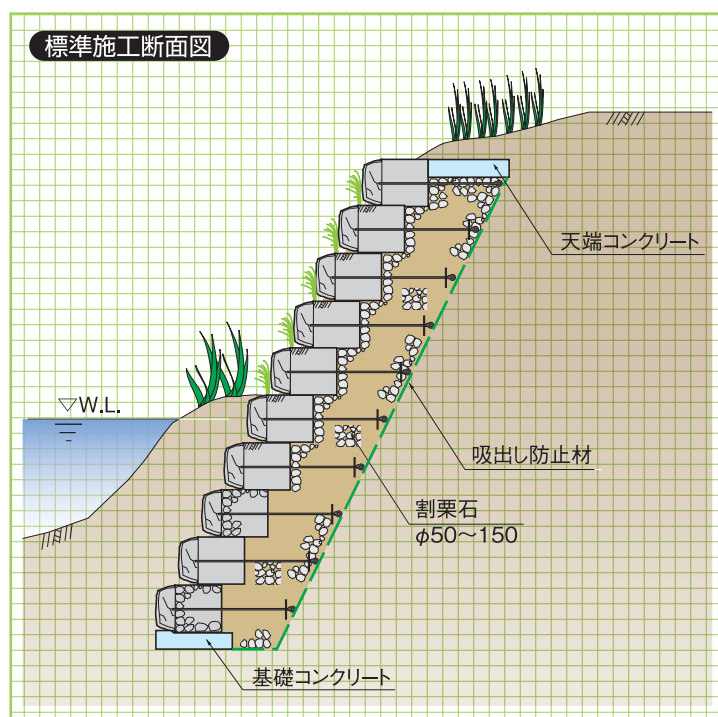
※現場の状況に応じてアンカー材のメッキ量を変更することができます。

緑化積工

■適用勾配=1:0.3~0.5

■対応流速:~8.0m/s程度

ブロックを多段に積上げます。多段積みの適度な空隙は、生物の生息空間や緑化のスペースとなります。



規格・数量

【法勾配1:0.5の場合】

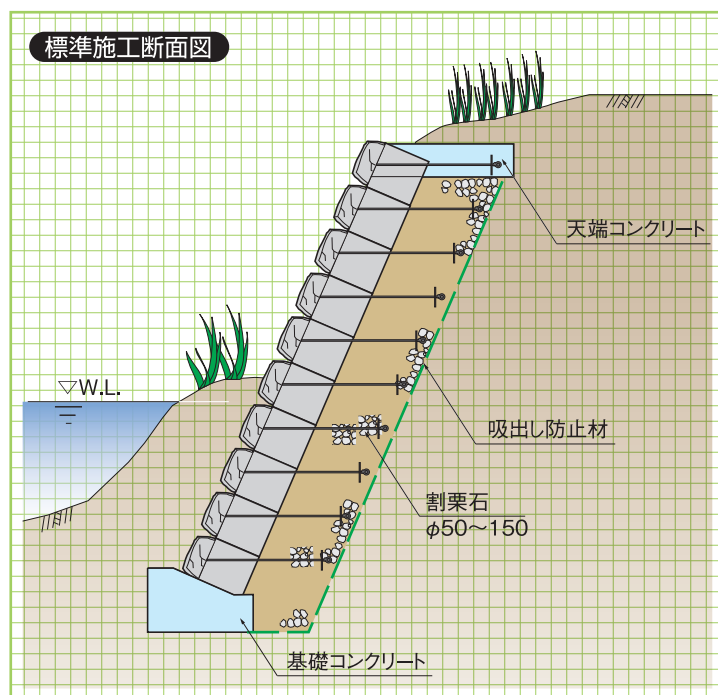
規格	形状	標準数量	裏込材量(割栗石)	参考重量
600型	W2000×h250×b350 アンカー長L600、パネル口150	1.79セット/m ²	0.539m ³ /m ²	133kg/セット
900型	W2000×h250×b350 アンカー長L900、パネル口150	1.79セット/m ²	0.807m ³ /m ²	133kg/セット

布積工

■適用勾配=1:0.3~0.5

■対応流速:~8.0m/s程度

ブロックを法勾配に合わせて7据付けます。従来から馴染みのある布積みの景観となります



規格・数量

【法勾配1:0.5の場合】

規格	形状	標準数量	裏込材量(割栗石)	参考重量
600型	W2000×h250×b350 アンカー長L600、パネル口150	2.00セット/m ²	0.534m ³ /m ²	133kg/セット
900型	W2000×h250×b350 アンカー長L900、パネル口150	2.00セット/m ²	0.803m ³ /m ²	133kg/セット